

# はらり ららはらり



～図書室にはこんな本があります～

No. 104

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問) 「<sup>こくさくだ</sup>国策炊き」とはどのようなものか知りたい。

答) 「<sup>こくさくだ</sup>国策炊き」をキーワードとして検索をします。

全資料 → ことば → 国策炊き ⇒ 5件該当

『決戦食生活工夫集』(閉架一般 596/Ka43)

『家庭科学』(閉架雑誌 590/Ka85/91)

『婦人之友』(閉架雑誌 051/F64/37-9)



\* 「<sup>こくさくだ</sup>国策炊き」とは…

ふつうに炊いたときに比べてご飯が3割増えるといわれ、政府が普及に乗り出した炊き方。

昭和18年6月3日付朝日新聞に「三割殖える御飯の炊き方」という標題の記事をみることができます。

『戦下のレシピ 太平洋戦争下の食を知る』(開架一般 383.8/Sa25)

『朝日新聞縮刷版 昭和18年5～6月』(閉架一般 071/A82/1943-3)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

## — 終戦直後の枕崎台風 —

この夏は、猛暑とともに台風にも似たゲリラ豪雨で、多くの地域に被害がありました。

昭和20年9月17日に鹿児島県枕崎に上陸した「枕崎台風」は、916.6mbと室戸台風匹敵する気圧を記録し、西日本を中心に全国での犠牲者は、3,756人に及びました。「3,756名の死者」がミナゴロシと読めることから、「ミナゴロシ台風」とも呼ばれました。

広島県では山津波が発生し、県内の犠牲者は2,012人。原爆に続き、広島に大きな被害をもたらしました。では、当時の新聞では、どのように報道していたでしょうか。

20年9月17日、18日の天気欄「けふの天気」を紹介します。

### 朝日新聞 けふの天気「昭和20年9月17日（月曜日）」

発達した台風がラサ島の南四万百キロの海上を北々西に進行中で次第に北より北々東に転向する模様です。西日本は明日より警戒を要す。

関東地方 北東の風曇りのち時々小雨、晩は東の風やゝ強く曇り時々雨、明日は風雨強くなる恐れあり注意を要す。

以下、(省略)

### 朝日新聞 けふの天気「昭和20年9月18日（火曜日）」

17日午後五時の天気概況は台風は午後三時現在熊本附近に達し九州地方では暴風雨となり近畿、中国、四国地方は風雨が可なり強くなつてゐる、北東に毎時五十キロ乃至六十キロの速さで進んでゐる、十八日朝には能登半島附近に達する見込み。

関東地方 南西の風強く雨多し。

以下、(省略)

\* 『朝日新聞縮刷版 昭和20年下半年』(071/A82/1945-2)より引用、旧漢字は改めました。

翌19日、20日の新聞は発行されておらず、21日の新聞でも、被害状況については何も報じていません。戦後間もない時期の台風で、防災体制が機能しなかったために大きな災害になったのでしょう。

参考文献:『読書案内「昭和」を知る本 ②社会』(210.7/N71/2)

『空白の昭和史 第18巻』(210.76/Ku22/18)

『従軍看護婦が見た病院船・ヒロシマ』(916/Mo12)

— 図書室から —

朝晩の涼しさが秋を感じられる季節となりました。暑さと豪雨の夏でしたが、そろそろ落ち着いて机に向える秋になります。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 104

2008年9月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1